



環境経営レポート

2023年度



株式会社 光工業

対象期間：2023年3月1日～2024年2月29日



【目 次】

項 目	ページ
環境経営方針	1
組織の概要（事業者名、所在地、事業の概要、事業規模等）	2
対象範囲（認証・登録範囲）	2
環境経営活動組織図及び役割・責任・権限	3
主な環境負荷の実績	4
環境経営目標及びその実績	4
環境経営計画の取組結果とその評価	5
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	6
代表者による全体評価と見直し・指示	6

発行日：2024年4月25日

株式会社 光工業

環境経営方針

□ 基本理念

地球環境問題の改善に取り組むことは、地球という土地に住む人類にとって共通のテーマである。株式会社光工業は事業活動における環境負荷を真摯に受け止め、企業活動と地球環境の調和を目指して、全社員が積極的に継続的にその負荷の低減に取り組んでいきます。

□ 基本方針

1. 環境に配慮した事業活動を行い、環境保全活動の推進に努めます。
2. 環境関連法規等を遵守し、環境汚染の予防に努めます。
3. 事業活動に伴うエネルギー使用量の削減に努め、CO2排出量削減を推進します。
4. 節水に務め、事業活動に伴う水使用量削減を推進します。
5. 環境経営方針に沿って環境経営目標を具体的に設定し、継続的改善に努めます。
6. 廃棄物排出量を抑制するよう努め、発生した廃棄物は、環境に影響を与えぬよう細心の注意を払って分別処理しリサイクルに努めます。
- 7 環境経営方針を社内に周知し、全社員参画による展開をするとともに、社外においても環境経営レポートを公開し他者とのコミュニケーションを実施します。
- 8 社員の作業意欲向上の為、技能実習生の活用を図る。

制定日：2013年7月1日

改定日：2020年3月1日

株式会社 光工業

代表取締役

福田 勝明

【組織の概要】

(1) 事業者名及び代表者氏名

株式会社 光工業

代表取締役 福田 勝明（まさあき）

(2) 所在地

本 社 兵庫県西宮市東鳴尾町2-16-30

(3) 設立・資本金

創 業 昭和52年 設立 平成2年1月

資本金 3000万円

(4) 環境保全関係の担当者連絡先

環境管理責任者・担当者 代表取締役 福田 勝明

連絡先 (TEL) 0798-45-0167

(FAX) 0798-45-7905

E-mail: hikari-kogyo@tuba.ocn.ne.jp

(5) 事業内容

舗装工事、土木工事の設計・施工、産業廃棄物収集運搬業

許可の内容

☐ 建設業許可：兵庫県知事許可 特-3 第220122号

土木工事業、舗装工事業、とび・土工工事業、水道施設工事業

☐ 産業廃棄物収集運搬業許可（積替保管なし）

兵庫県 許可番号第02801064711号 許可年月日 2019年11月5日 許可の有効年月日2024年11月4日

事業範囲：廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、ガラスくず、がれき類

大阪府 許可番号第02700064711号 許可年月日 2019年12月27日 許可の有効年月日2024年12月26日

事業範囲：廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、ガラスくず、がれき類

☐ 保有運搬車両：(2024年2月29日現在) 1台

車両の種類	台数
3tダンプ	5

(6) 事業の規模（2023年度）

381百万円（事業年度：3月～翌年2月）

工事件数： 129件

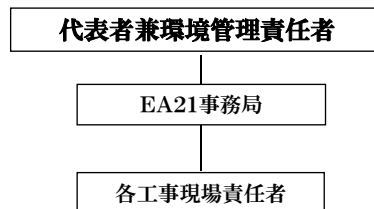
従業員数： 14名

■ 受託した産業廃棄物収集運搬量：1,102.26 t（アスファルトがら:615.54 t コンクリートがら:486.72 t）

【対象範囲】認証・登録

☐ 全組織、全活動を対象範囲とする。

事業所名	所在地	床面積（㎡）
本 社	兵庫県西宮市東鳴尾町2-16-30	118㎡



	役割・責任・権限
代表者兼環境管理責任者	・環境経営に関する総括責任 ・人・物・資金を準備 ・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標・環境経営計画書の確認・承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境経営レポートの確認・承認 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの確認・承認 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の確認・承認 ・環境関連の外部コミュニケーションの確認・承認 ・環境経営レポートの確認・承認
EA21事務局	・環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境経営の実績集計 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
各工事現場責任者	・工事現場の従業員に対する教育訓練の実施 ・工事現場での安全確認の実施 ・工事現場での緊急時の警察等への連絡 ・工事現場の問題点の発見、是正、予防処置の実施 ・各工事現場のまとめ（工事責任者） ・マニフェストの発行と管理
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□ 主な環境負荷の実績

項 目	単 位	2021年度	2022年度	2023年度
事務所の電力使用量	kWh	4,513	2,159	1,987
	kg-CO2	1,584	758	697
工事現場のLPG	kg	2,058	1,790	1,410
	kg-CO2	6,178	5,374	4,230
ガソリン使用量	L	11,455	9,140	9,707
	kg-CO2	26,595	21,220	22,521
軽油使用量	L	43,282	40,223	36,029
	kg-CO2	113,587	105,559	94,396
二酸化炭素排出量	kg-CO2	147,944	132,911	121,844
産業廃棄物排出量	t	2,074	1,281	1,102
水使用量	m ³	201	269	254

※排出係数：0.351 (kg-CO2/kWh) 2020年度実績関西電力調整後排出係数

*排出係数：ガソリン 2.32 (kg-CO2/kWh)、軽油 2.62 (kg-CO2/kWh)、LPG 3.00 (kg-CO2/kWh)

*化学物質の使用なし。

□ 環境経営目標及び環境経営計画の実績

項 目	単 位	基準値 2020年度 ～2022年 度の平均値	2023年度		2024年度	2025年度	2026年度
			目標	実績	目標	目標	目標
事務所電力使用量削減	kWh	3,710	3,673	1,987	3,636	3,599	3,562
	基準年度比	削減率	99%	54%	98%	97%	96%
工事現場LPG使用量削減	kg	2,072	2,051	1,410	2,031	2,010	1,989
	基準年度比	削減率	99%	68%	98%	97%	96%
ガソリン使用量削減	L	10,406	10,302	9,707	10,198	10,094	9,990
	基準年度比	削減率	99%	93%	98%	97%	96%
軽油使用量削減	L	42,467	42,042	36,029	41,618	41,193	40,768
	基準年度比	削減率	99%	85%	98%	97%	96%
二酸化炭素排出量	kg-CO2	143,128	141,697	121,844	140,265	138,834	137,403
	基準年度比	削減率	99%	85%	98%	97%	96%
水使用量削減	m ³	225	223	254	221	218	216
	基準年度比	削減率	99%	113%	98%	97%	96%
産業廃棄物排出量削減	基準年度比	再資源化率	100%	100%	100%	100%	100%

注1) 基準値は、2020年度、2021年度、2022年度の実績の平均値とした。

※ 削減率＝（実績／基準）×100％

□ 環境経営計画の取組内容とその評価、次年度の取組内容

取組内容の達成状況：○できた（100％）△（50％～100％未満）×全くできなかった（50％未満）

取り組み計画	評価	評価内容	次年度の取り組み	SDGs
I. 二酸化炭素排出量の削減	達成			
1) 電力使用量の削減	達成			
・不要照明の消灯	○	よく消灯されていた	継続実施する。	 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに
・空調温度の適正化	○	温度はよく管理されていた	継続実施する。	
・不要時パソコンの停止	○	長時間不使用时は停止された	継続実施する。	
2) LPGの削減	達成			
・不要時のストップ	○	よく徹底されていた	継続実施する。	
3) ガソリンの削減	達成			
・エコドライブの徹底	○	アイドリングストップなどが意識され、よくできている	継続実施する。	
4) 軽油の削減	達成			 13 気候変動に 具体的な対策を
・重機不要時ストップ徹底	○	徹底されている	継続実施する。	
・アイドリング時間最小化	○	最小化が図られている	継続実施する。	
II. 廃棄物排出量の再資源化向上	達成			
・計測記録	○	計測記録されている	継続実施する。	
・分別の徹底	○	よく分別された	継続実施する。	
III. 水使用量の削減	未達成			
・節水意識の向上	○	節水意識の向上が著しい	継続実施する。	 6 安全な水とトイレ を世界中に
・散水の無駄はしない	○	節水意識の向上が著しい	継続実施する。	

社内照明LED使用



社用車
ハイブリッド車使用



本社太陽光パネル
設置



□ 環境関連法規等の遵守状況の評価の結果

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	遵守する事項	遵守評価
廃棄物の処理及び清掃に関する法律および条例	収集運搬・処分依頼業者との適正な契約 マニフェスト伝票の管理 産廃処理業者実績報告書提出	遵守
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）	建設副産物（再資源利用計画書、実施書の作成、発生抑制、分別解体、再資源化等）	遵守
振動規制法および条例	特定建設作業の開始の7日前までに市町村長届出(元請けが対応)低公害型工法、低振動型建設機械(75db)	遵守
騒音規制法および条例	特定建設作業の開始の7日前までに市町村長届出(元請けが対応)低公害型工法、低騒音型建設機械(85db)	遵守
フロン排出抑制法	業務用エアコンの点検実施・記録の保管	遵守
特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律	特定特殊自動車の排出ガスの規定に従い対策型で対応し、車検証及び機種により確認する	遵守

* 環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていることを確認しました。

なお、環境関連法規制等への違反の指摘、訴訟、環境上の苦情等も過去3年間ありませんでした。

■ 内部コミュニケーション

朝礼及び掲示板にエコアクション21の取り組み状況、達成状況掲示し全員に周知している。

■ 外部コミュニケーション

外部から環境関連に関する苦情、要求はありませんでした。

□ 代表者による全体の評価と見直し・指示

（１）全体の評価

水使用量は、節水意識の向上や呼びかけはできているが今年度もやや未達成となった
電力使用量は、前年同様不要照明の消灯や空調温度の適正化などが徹底され目標達成できた。
自動車燃料使用量(ガソリン・軽油)も前年に引き続き重機の効率使用などでコスト削減に繋がった。
産業廃棄物の再資源化率も100%だった。
来期以降も引き続き環境経営目標の達成に向けた行動をしていくこと。

（２）見直しの・指示

今年度より3カ年計画導入し、正確に評価できるようになった。
今後も従業員との意見交換の場を積極的に設け、継続的に環境意識の高揚を図っていくこと。
来期以降も引き続き環境経営目標の達成に向けた行動をしていくこと。

項目	見直しの必要性	必要に応じて変更指示
環境経営方針	否	必要なし
環境経営目標	否	必要なし
環境経営計画	否	必要なし
実施体制	否	必要なし
その他の要素	否	必要なし